

健康社会研究センター ニュースレター 第17号

2011. 10. 14 発行

◆ 目次 ◆

- 1 CWS新メンバーの紹介
- 2 主な研究成果発表
- 3 研究費採択のお知らせ
- 4 社会的活動について
- 5 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 6 その他お知らせ

1 CWS新メンバーの紹介

<主任研究員>

・鈴木 佳代 (すずき かよ)

2011年10月1日より日本福祉大学健康社会研究センター主任研究員として着任いたしました、鈴木佳代と申します。

生まれと育ちは岐阜県可児市で、地元の高校を卒業後、北海道大学教育学部・教育学研究科で社会福祉やソーシャルワークを学びました。その後知的好奇心が趣くままにアメリカに渡り、オハイオ州で一年間英語の猛特訓をした後、ノースカロライナ大学チャペルヒル校社会学部で社会階層論や家族社会学を学び、この春に PhD を取得して帰国しました。まさか実家から通えるところで仕事に就けるとは思っていなかったもので、今回のご縁をありがたく思っています。

自身の研究について申し上げますと、学部生時代から一貫して社会経済的格差や社会的排除を問題意識の中心に置いており、これまでは若者や若年成人を対象に、ミクロ・メゾ・マクロ各レベルの社会環境が性行動や家族形成行動に与える影響について研究してきました。健康社会研究センターではこうした経験をふまえ、社会環境が人々の暮らしや健康に与える影響について、ライフコース的視点から研究したいと考えています。

いろいろと至らない点もあるかとは存じますが、皆様の助けをお借りしながら精一杯がんばって、よい研究をしたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 主な研究成果発表

<論文>

- ① Jun Aida, Katsunori Kondo, Hiroshi Hirai, Miyo Nakade, Tatsuo Yamamoto, Tomoya Hanibuchi, Ken Osaka, Aubrey Sheiham, Georgios Tsakos, Richard G. Watt: Association of Dental Status and Incident Disability Among an Older Japanese Population. Journal of the American Geriatrics Society (in press)

- ② Hanibuchi T, Kondo K, Nakaya T, Shirai K, Hirai H, Kawachi I: Does walkable mean sociable? Neighborhood determinants of social capital among older adults in Japan. *Health & Place* (in press)
- ③ Jun Aida, Katsunori Kondo, Naoki Kondo, Richard G Watt, Aubrey Sheiham, Georgios Tsakos: Income inequality, social capital and self-rated health and dental status in older Japanese. *Social science & medicine* (in press)
- ④ Tomoya Hanibuchi, Ichiro Kawachi, Tomoki Nakaya, Hiroshi Hirai, Katsunori Kondo: Neighborhood built environment and physical activity of Japanese older adults: results from the Aichi Gerontological Evaluation Study (AGES). *BMC Public Health* 2011, 11:657
- ⑤ 三澤仁平: 地域における医療資源がもたらす主観的健康感への影響—健康観の視点からの検討—. *保健医療社会学論集* 22 (1): 69-81, 2011.9
- ⑥ 近藤克則: 健康の社会的決定要因 (15) 最終回 WHO の健康格差対策. *日本公衆衛生雑誌* 58 (7): 550-554, 2011.7
- ⑦ 近藤克則: 高齢者医療制度改革の課題—超高齢社会に求められる医療・介護とは—. *医療白書* 2011 年度版「少子超高齢・人口減少時代における『国民課題』としての医療問題」: 124-136, 日本医療企画, 2011.9

<学会発表>

- ① KONDO, Katsunori: Health Inequalities in Japan: An Empirical Study of the Older People and Development of a benchmark system. The 7th International Conference on Social Security “The Evolving Social Risks and the Proactive Social Security Strategy” Sep.3-4, 2011 Busan, Korea

<講演等>

- ① Katsunori Kondo: Prevention policy for healthy aging: Japanese experience. Conference on Ageing Societies A Japanese-Swedish Research Cooperation. Sponsored by Uppsala University, The University of Tokyo. 2011.9.21-23. Uppsala University, Uppsala, Sweden
- ② 近藤克則: 健康格差問題と社会政策. 社会政策学会第 123 回大会, 2011.10.9, 京都
- ③ 近藤克則: 長野モデルの検証 (シンポジウム), 診療医療に学ぶ地域ケアからのスタート (シンポジウム・コメンテーター). NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第 17 回全国集い in しんしゅう, 2011.9.19, 長野
- ④ 近藤克則: ソーシャル・キャピタルと地域づくり・健康づくり. 第 12 回日本福祉大学大学院公開講座, 2011.9.8, 長野
- ⑤ 山本龍生: 現在歯数, 咀嚼能力およびかかりつけ歯科医院の有無と認知症を伴う要介護認定との関連: AGES プロジェクトのコホートデータによる分析. 深井保健科学研究所第 10 回コロキウム「新しい公衆衛生」と健康度評価の課題, 2011.8.6, 東京

<マスコミでのコメントなど>

- ・「補綴治療と所得格差」(東北大学での AGES データを用いた研究成果の紹介) *日本歯科新聞*, 2011 年 9 月 13 日

3 研究費採択のお知らせ

<「平成 23 年度研究活動スタート支援」に採択されました>

テーマ：マルチレベル分析を用いた、地域特性と健康との関係に関する社会疫学的研究

期 間：平成 23 年度・平成 24 年度

研究代表者：三澤仁平

4 社会的活動について

・近藤克則：「医療・介護サービスの連携に関する懇談会」（厚生労働省）委員として出席。

5 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1) 第 70 回日本公衆衛生学会学術総会

【日 時】2011 年 10 月 19・20 日

【場 所】秋田県民会館・秋田アトリオン・秋田キャッスルホテル 他

公式サイトはこちら→<http://jsph70.umin.jp/>

<受賞を祝う会のお知らせ>

*前主任研究員の平井寛さんが、「高齢者の『閉じこもり』に関する実証研究と地域における予防に向けた実践」において奨励賞を受賞されました。奨励賞受賞講演後（10 月 20 日）、お祝いを予定しています。是非ご参加ください。

2) リハビリテーション合同研究大会くまもと 2011

【日 時】2011 年 10 月 28 日（金）

【場 所】ホテル日航熊本

【講 演】教育研修講演

近藤克則：医療・介護保険制度改革とリハビリテーション医学医療の課題

公式サイトはこちら→<http://www.rc2011.org/index.html>

3) 地域医療研究会全国大会 2011 in 高知

【日 時】2011 年 10 月 29 日（土）

【場 所】高知市文化プラザかるぼーと

【シンポジウム】

『「地域医療と社会保障」 少子・高齢化社会での社会保障 そのとき医療は…そのとき介護は…』

（シンポジスト）石井暎禧・阿部知子・近藤克則・梅村聡

（助言者）権丈善一 （コーディネーター）松本文六

プログラムはこちら→<https://apollon.nta.co.jp/chiiken/files/annai.pdf>

4) 第 27 回日本ストレス学会学術総会

「格差社会におけるストレスから分子生物学的ストレス研究まで」

【日 時】2011 年 11 月 19 日（土）14：30-15：30

【場 所】東京国際交流館プラザ平成

【後 援】厚生労働省

（講 演）近藤克則「格差社会における健康とストレス—社会疫学の視点から」

5) [第 22 回日本疫学会学術総会](#)

【テーマ】「社会のニーズに応える疫学」

【会 期】2012 年 1 月 26 日（木）～28 日（土）

【会 場】学術総合センター・一橋記念講堂

【内 容】パネルディスカッション「市民が求める疫学とは」（27 日）

シンポジウム 1 “Development of Clinical Epidemiology Network in East Asia”（28 日）

シンポジウム 2 「社会に貢献する疫学を目指して」（28 日）

6) 介護予防 WG (JAGES)・AGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

・ 10 月研究会

【日 時】10 月 30 日（日）10：30～17：00

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス 7B 会議室

・ 11 月研究会

【日 時】11 月 20 日（日）10：30～17：00

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

・ 12 月研究会

【日 時】12 月 19 日（月）・20 日（火）10：30～17：00

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

・ 12 月（国際シンポジウム）

【日 時】12 月 23 日（金・祝）

【場 所】アルカディア市ヶ谷

・ 1 月（国際シンポジウム）

【日 時】2012 年 1 月 8 日（日）

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

・ 1 月研究会

【日 時】1 月 9 日（月）

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

6 その他お知らせ

- ・ 日本学術会議が、提言「わが国の健康の社会格差の現状理解とその改善に向けて」を公表しました。

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t133-7.pdf>

- ・ 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会が、「高齢者における健康の社会格差」を提言しました。（2011 年 7 月号）

<http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2011/7/58-7-564.pdf>

- ・ (再掲) World Conference on Social Determinants of Health. October 19-21, 2011 (WHO)

(WHO: 健康の社会的決定要因に関する世界会議)

【場 所】Rio de Janeiro, Brazil

【日 程】2011 年 10 月 19-21 日

※詳細はこちら→<http://www.who.int/sdhconference/en/>

<5 つの主要テーマ>

1. governance to tackle the root causes of health inequities: implementing action on social determinants of health (健康格差の根本原因への対策を講じるための統治:「健康の社会的決定要因」に対する行動を起こす)
2. the role of the health sector, including public health programs, in reducing health inequities (健康格差抑制のための保健医療セクター(公衆衛生プログラムを含む)の役割)
3. promoting participation: community leadership for action on social determinants (参加の促進:社会的決定要因に対する行動のためのコミュニティのリーダーシップ)
4. global action on social determinants: aligning priorities and stakeholders (社会的決定要因に対する世界的な行動:優先度と利害関係者の調整)
5. monitoring progress: measurement and analysis to inform policies on social determinants (進捗状況のモニタリング:社会的決定要因対策への情報提供のための測定と分析)

<お知らせ> (再)

「健康社会研究センターのホームページの「リンク」のページ <http://cws.umin.jp/link.html> の中に、「健康の社会的決定要因や介護予防の関連論文」コーナーを作りました。リンクすべき論文などの書誌情報と URL をお知らせ下さい。

ニューズレター第17号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら<k-manami@n-fukushi.ac.jp
(泉)>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元:健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

(このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています)
